

第18回 多文化共生のための
国際理解教育・開発教育
ZOOMを使って
オンラインセミナー

共に生きる地球社会の実現に向けて、
国際理解教育・開発教育の実践セミナーを開催します。

対象者：国際理解教育・開発教育に興味のある教職員、学校関係者、学生、高校生

参加費無料

2021年

8月3日(火) 基調講演 13:00-14:35 /分科会① 15:00-16:30

8月4日(水) 分科会② 13:00-14:30 /分科会③ 15:00-16:30

8月5日(木) 分科会④ 13:00-14:30 /分科会⑤ 15:00-16:30

8月6日(金) 分科会⑥ 13:00-14:30 /分科会⑦ 15:00-16:30

《詳細・申し込み方法》

開催形式：オンライン(Zoom)

※ご参加にはインターネットに接続できる機器・環境が必要です

※グループワークの際は環境の許す限りカメラをONにしてお参加ください

締切：7月27日(火) ※基調講演、各分科会の定員に達した場合は個々に締め切ります

申込：必要事項をご記入の上、下記メールアドレスにてお申込みください。

①お名前 ②ふりがな ③属性(教職員・学校関係者・学生・高校生・その他)

④所属 ⑤メールアドレス ⑥電話番号 ⑦参加ご希望の回(基調講演、分科会①～⑦) ※複数申込可

お申込みメールアドレス：jicaksic-renkei@jica.go.jp

お申込みメール



問合せ：JICA関西 市民参加協力課 担当 遊川(ゆうかわ) TEL:078-261-0384 / E-mail:jicaksic-renkei@jica.go.jp

共催：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人神戸YMCA、公益財団法人PHD協会、
公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部、独立行政法人国際協力機構関西センター (JICA関西)

8月3日(火)

13:00-13:05 >> 開会

13:05-14:35 >> 基調講演

「ESD×SDGsと国際理解教育」 定員:50名(先着)

■講師: 北海道教育大学名誉教授/北海道ユネスコ連絡協議会会長
大津 和子

■内容: 「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す、ESD(持続可能な開発のための教育)を基本的理念とする学習指導要領に基づき、SDGsが教科書に頻繁に記載されるようになりました。いま求められている教育について、国際理解教育の視点から考えます。(グループワークあり)

14:35->> 団体紹介

15:00-16:30 >> 分科会①

「コロナと私たち～授業づくりのヒント」
(SDGs、ESD、人権教育) 定員:30名(先着)

■参加対象:原則として小学校・中学校教員の方

■講師: 北海道教育大学名誉教授/北海道ユネスコ連絡協議会会長
大津 和子

■内容: COVID-19の感染拡大は、私たちの暮らしや社会、世界の情勢を大きく変え、2030年のSDGs達成を難しくしています。同時に、暮らしや社会を見直す動きも出てきています。コロナを切り口とした小・中学校の実践事例を通して、授業づくりのヒントを見つけます。(グループワークあり)

8月4日(水)

13:00-14:30 >> 分科会②

「SDGsを学ぼう! 高学年における授業実践」
(SDGs) 定員:40名(先着)

■講師: 神戸市立摩耶小学校 主幹教諭 阪井 園子
神戸市立港島学園 教諭 石動 徳子

■内容: なぜSDGsを学ぶのか? SDGsを取り上げると、どんな良さがあるのか? 「カリキュラムマネジメント」「主体的で対話的な深い学び」などに、SDGsは学校現場でどう活かされるのか? JICAとのつながりの中から生まれた、高学年における授業実践についてご紹介します。

15:00-16:30 >> 分科会③

「ねこのポーポキと一緒に安全・安心を考え、平和をつくりましょう」
(平和) 定員:20名(先着)

■講師: 神戸大学大学院 国際協力研究科
教授 ロニー アレキサンダー

■内容: 「平和って何色? 安心は?」平和そのものやそれを妨げるものについて問いかけるバイリンガルな猫、ポーポキ。その平和には安心が必要? 一人ひとりの安心をイメージし、積極的な平和づくりを目的とする参加型ワークショップです。

8月5日(木)

13:00-14:30 >> 分科会④

「外国ルーツの子ども達への教科学習支援」
(学習支援、外国ルーツの子ども) 定員:80名(先着)

■講師: NPO法人多文化センターまんまるあかし
副理事長/日本語教師 櫻江 茂樹

■内容: 日本の学校で学ぶとき、外国にルーツを持つ子ども達はどのような課題と向き合っているのか、どう対応すればよいのか、まんまるあかしで行っている教科学習支援活動を通じて感じたところを紹介します。また、「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションにもチャレンジします。

15:00-16:30 >> 分科会⑤

「『豊かに共生する心』を育む」
(多文化共生) 定員:50名(先着)

■講師: 兵庫県教育委員会事務局人権教育課
子ども多文化共生センター 指導主事 後藤 英之

■内容: 県内の子ども多文化共生教育にかかる現状と課題を理解するとともに、どうすればすべての児童生徒に『豊かに共生する心』を育むことができるのか、ワークショップを通して考えます。

8月6日(金)

13:00-14:30 >> 分科会⑥

「感染症から考えるSDGs(アフリカ編)ー識字率と教育の格差ー」
(人権、SDGs、教材体験) 定員:50名(先着)

■講師: 京都市立西京高等学校 教諭 金田 将裕

■内容: 講師が訪れたアフリカを題材にワークショップを行います。講師が考えた感染症の広がりを体験する化学実験、識字率や教育の格差について考えるアクティビティに参加してもらい、ディスカッションを通してSDGsについて考えます。

15:00-16:30 >> 分科会⑦

「ワークショップで考える難民問題」
(難民) 定員:50名(先着)

■講師: 難民事業本部関西支部 中尾 秀一

■内容: あなたの家族が難民になったらどうしますか。難民とはどのような人なのでしょうか。難民の定義や避難しなければならぬ原因、難民の身に降りかかる困難について、教室でもオンラインでも使える手法で考えます。